

平成19年5月 高野博町議の活動報告

みなさんと力をあわせ、公約実現へがんばります

議長選挙は木村征郎氏へー共産党の2議席ー



5月8日初議会でした。議長選挙には「公正な議会運営を」願って、日本共産党の高野博議員と阿部律子議員はそろって木村征郎議員に投票しました。9対7で、木村征郎議長が誕生しました。また副議長選も同様に9対7で宮元伸成議員が当選しました。町長が提出した酒井孝正議員の監査委員選任同意は、賛成少数で否決されました。日本共産党は「公正さに疑義」という判断から反対しました。高野博町議は総務企画に所属。阿部律子町議は文教福祉に所属し、議会広報編集委員会の副委員長になりました。

女川町・国保を考える会（準備会）が発足しました

5月24日清水地区の川尻集会所で19人が参加し、高野博・阿部律子両町議が呼びかけた、「女川町・国保を考える会」（準備会）が正式に発足しました。協議に先立ちNHKスペシャル「もう医者にかかれないーゆきづまる国民健康保険」という放送番組のビデオを見ました。これから本格的に署名運動や学習会、地区懇談会などをすすめていきます。



高野博のフレッシュ便 NO.16

発行 日本共産党女川町委員会



女川 支部の見解を紹介します

2007年5月27日（日）

電話 F A X 0225 - 53 - 3614

携帯 080-6016-3614

takano44@image.ocn.ne.jp

<http://www16.ocn.ne.jp/~takanohi>

更新しました



五月十三日、小雨模様の中、バスは満員の50人で、楽しく一日過ごしてきました。これからもよろしく。

今年の後援会のバスツアーは湖畔公園とえぼしスキー場でした

平成19年6月 高野博町議の活動報告

6月12日 第一次分1012筆、町長に届けました

6月12日朝早く、国保を考える会(準備会)の高野博事務局長ら5名は、安住町長を訪ね、第一次集約分1,012筆の国保税引下げを求める陳情署名を提出し、懇談しました。署名にこめられた町民の切実な願いをこもごも訴え、国保税の引下げを心から訴えてきました。

また引き続き、「第二次分を集約しお届けします」とお約束をしてきました。



6月23日 日本共産党大演説会が開かれました。



小池 晃 党政策委員長の話に
勇気と元気をいただきました。
女川から11人が参加しました。

日本共産党の小池晃政策委員長を迎えた演説会が23日、仙台サンプラザで開かれました。1400人の参加者が、小池氏のユーモアあふれる話に笑いと共感の拍手。「消えた年金問題では、党の提案が徐々に政府の対策を動かしている」との報告がありました。

高野博のフレッシュ便 NO.17

発行 日本共産党女川町委員会



女川 支部の見解を紹介します

2007年7月5日(木)

電話 F A X 0225 - 53 - 3614

携帯 080-6016-3614

takano44@image.ocn.ne.jp

<http://www16.ocn.ne.jp/~takanohi>

大幅に更新中です。ぜひご覧下さい



高野博町議は、この間 街頭演説や伊勢・大原・清水一区で議会報告会を行い、がんばっています。
消えた年金問題や住民税増税、消費税の増税の問題、そして緊急課題になってきた憲法9条守る問題などで、日本共産党国会議員団の役割を訴えています。

町民の声をまっすぐ議会に 6月議会は6月18日から20日まで3日間開催されました。

6月議会・高野博町議の一般質問

詳しくは(議会報告特集の)「女川民報」をご覧ください。

◇「原発安全対策を担当課任せにしないで」との声に

データ改ざんまでする異常な不祥事が相次ぎました。原発の安全対策に庁舎内に「原発問題検討会議」を設置し、専門家の意見も聞き、国や電力に対応すべきと、提言。また内部告発を検証せず、運転再開容認した責任をただしました。

◇「金華山行きの定期便がなくなる」との訴えが

ある水産物販売業者から「金華山航路がなくなると本当に困る」と切実な訴えがありました。観光政策をどうするかと、議会で訴えました。



ほとんど動かない金華山行きの船。観光女川はどうなる？

◇「ベランダの下水用配管が不便です」と、もっともな声

これも清水の改良住宅の入居者から訴えられた問題です。そもそも住民の意見を聞かず工事を進める姿勢が問題。直ちに改善をと迫りました。



もうこれ以上、庶民いじめの自公政治を許さない
たしかに野党・日本共産党の前進こそ、
国民の「命綱」です。

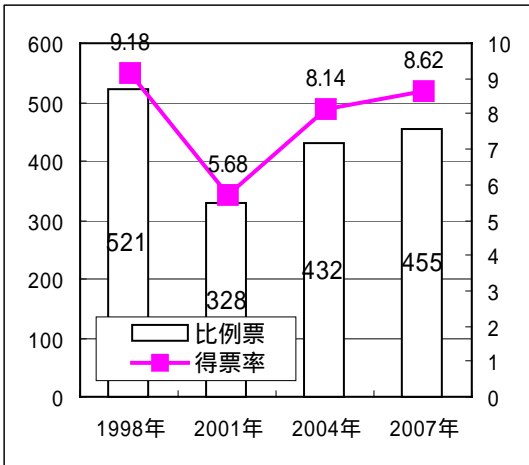
「消えた年金」問題は、「国による振り込め詐欺」のようなものです。いまの政府は「不安なら問い合わせを」という態度です。これは本末転倒です。いま必要なことは、国の責任で、納付記録を直ちに受給者、加入者全員に送ることです。そうすれば国民は、誤りや不備があれば問い合わせることができます。日本共産党は、1人残らず、1日も早く国の責任で解決することを強く要求してがんばっています。

住民税の増税に、多くの町民が驚きと怒りでいっぱいです。定率減税の廃止や税源委譲で住民税が軒並み大幅アップです。次は消費税の値上げが待っています。もう庶民増税はゴメンです。この18年間で消費税総額175兆円。その一方で、大企業や大金持ちには160兆円の減税をしています。本当に国の政治は逆立ちしていますよね。



平成19年7・8月 高野博町議の活動報告

参院選挙の結果について 女川町では少しですが前進しました 新しい政治の探求が始まっています



1998年の参院選は全国的に共産党が躍進した選挙です。2001年に後退しましたが、女川町では少しずつ回復しています。(左グラフ) これからも、がんばります。ご支援とご指導をよろしくお願いいたします

自民の大敗で、すでに「政治とカネ」については厳しい国民の目が光っています。また消費税増税や憲法改定の暴走にブレーキがかかりつつあります。

参院で与野党逆転という状況が生まれ、国民の声が活かされる、新しい政治の探求が始まりました。

新潟県中越沖地震・被災者の方々にお見舞い申し上げます。 柏崎刈羽原発に甚大な被害・不具合2381件に(8月20日現在)



7月20日、ただちに石巻市議団と女川町議団が東北電力に申し入れました

女川原発を運転停止して(1) 580ガルの「安全確認地振動」を撤回し、680ガルを超える地震動で再評価を(2) 海底の活断層が連動すれば(M7.1クラスの)巨大地震になる。直下型地震の見直しを(3) 消火体制の強化を、と申し入れました。



高野博のフレッシュ便 NO.18



発行 日本共産党女川町委員会

女川 支部の見解を紹介します

2007年8月26日(日)

電話 F A X 0225 - 53 - 3614

携帯 080-6016-3614

takano44@image.ocn.ne.jp

<http://www16.ocn.ne.jp/~takanohi>

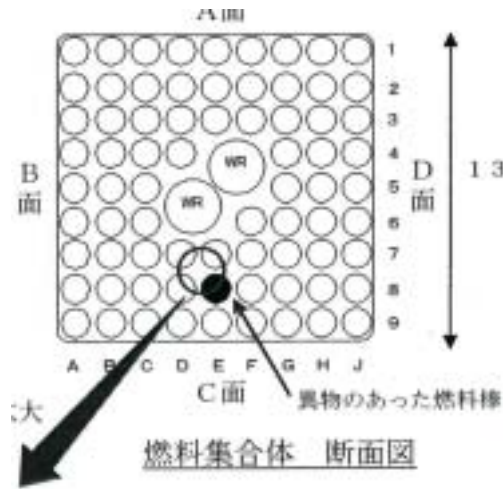
大幅に更新中です。ぜひご覧下さい

8月10日、東北放送のイブニングニュースで高野博町議がインタビューに応じ、報道されました



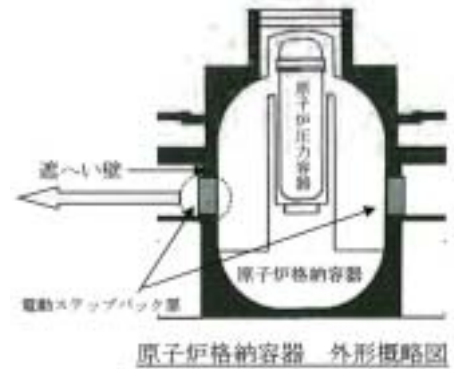
女川原発の前面海底の活断層に注目が集まっています。

原発特別委員会(6月13日)で高野町議が指摘、ズバリの中。



女川原発 3号機で燃料棒から放射能が漏れていたことがわかりました。3号機では2年前も同じことが起きています。高野町議は「原因は異物の可能性がある」と指摘しました。6月の定期検査報告で、その指摘が的中していたことが明らかになりました。

住民説明会で高野町議が内部告発を明らかにした電動ステップバック扉で、東北電力は6月の点検報告で、両側とも不具合が発生していたことを正式に認めました。



敬老祝金を半額に 7月27日の全員協議会で説明

これ以上弱いものいじめの政治はごめんです。日本共産党町議団は反対です



女川町当局は、9月議会に敬老祝金を半額に減額する見直し案を提案すると、全員協議会で説明をしました。

経費節減なら、もっと見直すべきものがたくさんあります。この間、高齢者控除の全廃、公的年金控除の縮小、定率減税の廃止でつぎからつぎとお年寄りの負担が増えています。もうこれ以上のお年よりいじめは許せません。

「原発震災」を防ぐためにも、新指針の見直しを

石橋克彦神戸大学教授らの提言から

新しい耐震指針による検証を行えば、安全かといえれば決してそうではありません。震源断層の上に原発はつくらないと明記されず直下型の地震ではM7.3を下限に設計地震動を設定すべきとの主張を受け入れず活断層がないとされる敷地では電力の恣意的な基準が導入されるなど、問題だらけです。柏崎市長も新指針の見直しを求めています。



平成19年9・10月 高野博町議の活動報告

住民の安全と暮らしを守って



10・7サンマ収穫祭の一コマ

いよいよ10月1日から 中学卒まで医療費無料に

全国的にも先進的な「中学卒まで医療費無料制度」が10月から、実施に入りました。その後次々と子育て支援の一つとして、取り入れる自治体が増えています。この施策を力に若者が本町に定着してくれたら素晴らしいことですね。

阿部律子町議が繰り返し提言したことが実現しました。

宮城県母親大会に1400人

10月14日、大崎市大崎中央高等学校で開かれた今年の宮城県母親大会。なんと1400人の参加でした。私たちも、「原発震災はいやです」と原発の署名をお願いしました。1時間たらずで140名分集まりました。

その後医療介護の分科会に参加しました。「後期高齢者医療制度」の説明に、「年取ったら死ぬというのか」「これ以上年金が減らされたら暮らしていけない」など怒りの声で会場が一杯になりました。



浜岡原発裁判 国民の不安にこたえない判決



国民の誰も
が納得でき
ない、国と
事業者の
言い分を鵜
呑みにした
静岡地裁の
不当な判決
でした。

10月26日の判決は、活動期に入った地震列島の日本で現実に発生している様々な問題・柏崎刈羽原発の現実等をまったく無視して、事実を目をふさぎ、国民の不安にこたえようとしない異常な判決です。（高野博 談話）

高野博のフレッシュ便 NO.19

発行 日本共産党女川町委員会



女川 支部の見解を紹介します
2007年10月28日(日)
電話 F A X 0225 - 53 - 3614
携帯 080-6016-3614
takano44@image.ocn.ne.jp

<http://www16.ocn.ne.jp/~takanohi>

大幅に更新中です。ぜひご覧下さい



気軽に生活相談を

どうぞ、気軽に電話を下さい。「困りごとなら高野さんのところへ」とこの頃、毎日のようにご相談にお見えになります。聞いてみるとずいぶん悩んだ上にやっと電話を下さるようです。ぜひ気軽に。弁護士や専門家のご協力も得て、解決しましょう。

10月24日石巻文化センターでの原発学習講演会 50人の参加で、有意義な内容でした。



講演する児玉氏—24日、石巻市

「原発震災・臨界事故隠し・プルサーマル」 - 住民の安全を守るために一と題して、講演会を開催しました。50人が参加され実りある集会でした。講師の児玉さんから、新潟中越地震や能登半島地震にふれ、活断層を過小評価し、いかに原発設置が耐震安全性を度外視して進められてきたか説明がありました。住民運動を粘り強く進める大切さを考えさせられました。

9月1日～2日、日本科学者会議・原発シンポジウムに 阿部律子町議と参加し、学んできました。

議会の政務調査費を活用して、青森市で開かれた日本科学者会議の原発問題シンポジウムに参加し学んできました。前日は六ヶ所村の活断層をじかに見てきました。当日は専門家の話を伺いました。プルサーマルは一回限りで、「MOX使用済み燃料」はたまる一方、リサイクルどころか「愚かで危険なプルトニウム利用」との指摘は強烈でした。



どうして、交換したばかりの配管に穴が開くのですか。



今年10月の配管の穴



去年5月の配管の穴

東北電力(株)は答えるべきです。なぜ10ヶ月程度の使用で穴が開くのですか。品質保証体制はどうなったのですか。徹底的な原因究明と対策を求めます。それができない原因は何ですか。「おおむね妥当」とした国の責任は。

平成19年11月 高野博町議の活動報告

アピール

後期高齢者医療制度の4月実施中止を



政府は来年4月から75歳以上の高齢者を対象に「後期高齢者医療制度」を創設するとともに、70～74歳の窓口負担を2割に引き上げようとしています。新しい制度はもっぱら医療費削減を目的にしたもので、高齢者への過酷な負担増と医療内容を制限することが大きな特徴です。これでは「まさに姥捨て山ではないか」と怒りの声が巻き起こっています。来年4月実施を中止させる署名にご協力ください。

女川原発3号機、水素濃度急上昇で、電力と県に、緊急の申し入れ

11月10日、女川原発3号機で水素濃度が通常0.4%のところ5%の測定限界を超える事態になり、手動停止した問題で、13日、原生会や県連絡センター、共産党の議員団の三者で原因究明と再発防止策を緊急に申し入れました。



11月13日 東北電力本社で申し入れ行なう 高野博・阿部律子町議、横田有史・遠藤いく子県議等のみなさん

高野博のフレッシュ便 NO. 20

発行 日本共産党女川町委員会



女川 支部の見解を紹介します
2007年11月28日(水)
電話 F A X 0225 - 53 - 3614
携帯 080-6016-3614
takano44@image.ocn.ne.jp

<http://www16.ocn.ne.jp/~takanohi>

大幅に更新中です。ぜひご覧下さい

- 11月3日 町政功労者表彰式
- 11月4日 町民文化祭 見学
- 11月9日 町立病院問題で町長と懇談
- 11月14日 対政府交渉(東京)
- 11月15日 急傾斜対策 地権者説明会
- 11月16日 町立病院特別委員会
- 11月19日 対政府交渉(東京・原発)
- 11月20日 総務企画常任委員会
県土木事務所交渉
- 11月21～22日 新潟県柏崎市
柏崎刈羽原発災害 緊急大会に出席
- 11月23日 商工会永年勤続表彰式
- 11月25日 県党会議に出席
- 11月27日 地区議員団会議
予定
- 12月3～5日 新潟柏崎刈羽原発視察
- 12月7日 議会運営委員会
- 12月8日 望年会(午後5時から)

厚生省や総務省の医療費削減の動きに抗して 町立病院特別委員会の役割が大きく



9月議会で、町議会に町立病院調査特別委員会が設置され、委員長に高野博、副委員長に酒井孝正議員と決まりました。国の強引な医療費削減の動きに対し、町立病院を存続させるためにも、病院の改革が大切な課題になっています。これから一年をメドに精力的に地域医療のあり方など真剣に議論してまいります。町民各位のご指導とご協力をお願いします。

町民の願い届けて・・・11月14日
日本共産党宮城県地方議員団の一員として

対政府交渉（高橋千鶴子衆議員と）

高野博町議は、国土交通省では、清水地区川尻急傾斜対策事業の人工崖として未採択分について再検討を訴えました。（右の写真）、国道398の迂回路として、石巻の屋敷浜線の改良工事に国の財政支援を訴えてきました。また、原子力安全・保安院に対しては、耐震安全性の問題で、柏崎刈羽原発の経験を踏まえ、新指針の見直しを求めました。この場をセットしてくれたのは高橋千鶴子衆議員です。感謝！



大きな石が落ちている現場こそ対策が必要と地区民の声を届けました。

「フレッシュ便」20号をお届けします



一昨年から発行した高野博の「フレッシュ便」がおかげさまで20号を迎えることができました。

これまで町政の中心課題を正面から取り上げ、また身近な相談相手としてがんばってきました。でも国の政治を変えなければ根本的な解決はないということも数多くあります。

ぜひ しんぶん「赤旗」日曜版をご購読下さい。真実と心温まる記事がいっぱいです。共産党を大きくしてください。

「フレッシュ便」発行に暖かい物心両面からのご支援をいただいております。心から感謝し、これからもがんばります。

平成19年12月 高野博町議の活動報告

原油高騰に対する緊急助成を求める要請

12月27日、高野博町議と阿部律子町議は町の総務課長を訪ね、安住町長あての「原油高騰に対する緊急情勢を求める要請書」を提出しました。国がやっと低所得者を対象に「福祉灯油」を支給した自治体を支援する方針を打ち出しました。

総務課長は「特別地方交付税で対応するとの情報もあり、女川町としても助かる」と語り、情報を集めて対応すると語っていました。



街頭から演説に、わざわざ外に出て聞いてくれる人もあり、嬉しかったです。



12月8日、66年目の太平洋戦争開戦の日。高野博町議と阿部律子町議は、「戦争ではテロは根絶できないこと」「消費税増税は許さない」と訴えました。

高野博のフレッシュ便 NO. 21

発行 日本共産党女川町委員会



女川 支部の見解を紹介します
2007年12月28日(金)
電話 F A X 0225 - 53 - 3614
携帯 080-6016-3614
takano44@image.ocn.ne.jp

<http://www16.ocn.ne.jp/~takanohi>

大幅に更新中です。ぜひご覧下さい

- 12月3日～5日新潟県柏崎刈羽原発視察
町議会原発対策特別委員会
- 12月7日 町議会議会運営委員会
同 全員協議会
- 12月8日 街頭宣伝 5ヵ所
日本共産党高野博後援会で望年会
- 12月10日 町立病院特別委員会
- 12月13日～18日 12月議会
- 12月15日 石巻平和のつどい
- 12月19日 特養ホーム忘年会
- 12月22日 青野登喜子さんをしのぶ会
- 12月24日 原生会 学習会
- 12月25日 女川町消防署開庁式
- 12月26日 原発問題で知事に申し入れ
- 12月27日 女川町水産まつり
石油高騰で町に申し入れ
- 12月28日 原発問題で東北電力本社に
- 12月28～31日 年末のごあいさつ

トラブル続きだった女川原発—監視役として—

東北電力への申し入れ（写真）



事故トラブルや耐震安全性、ヨウ素 131 検出など次々と起こる問題に、あらためて住民の立場にたった監視役が本当に必要だと、その役割を果たそうと、電力や県、国を厳しく追及してきました。

女川原発関連のトラブル等(TBCイブニングニュースから)

- 1月 2号機の部品の不具合で原子炉停止
- 2月 低レベル放射性廃棄物測定結果誤りで搬出延期
- 3月 3号機 復水器の海水漏れで原子炉停止
1号機 9年前の緊急停止隠し発覚
データ改ざんなど1,300件以上発覚
- 5月 1号機 弁棒折れ見付きり原子炉停止
- 7月 ヨモギからコバルト60検出
柏崎刈羽原発の火災受け検証
- 10月 2号機で配管に穴見付きり原子炉停止
- 11月 3号機 水素濃度上昇で原子炉緊急停止

大勢の客でにぎわった、水産まつり

第26回女川町水産まつりが27日女川魚市場で開かれました。町内の業者の方々が今年の締めくくりとして、本当に安い値段で海産物を提供し、カキ汁やすり身汁も振る舞われました。町長があいさつの中で「わが町はなんと言っても水産漁業で生きて行く町だ」と力強く語られ、思わず拍手しました。

私も多くの町民にお会いし、元気をもらいました。

望年会(12月8日)に26人参加しました 和やかに、時間を忘れて過ごしました

今年も庄司弁護士が駆けつけてくれました。また、加藤幹夫県常任委員も挨拶をしました。高野博町議から議会の様子が報告されました。今年はずじめて、高野地域だけで望年会を開くことになりました。なにかと阿部律子町議に頼っていただけに、不安でした。あまり声をかけることが出来ず、それでも26人が集まって、尻上がりに盛り上がり、われもわれもと踊りだし、本当に楽しく過ごすことが出来ました。この1年間のご指導とご鞭撻に心から感謝をします。



12月27日付
石巻日日新聞より



平成20年3月 高野博町議の活動報告

共産党員市長、秋田 湯沢市の鈴木俊夫市長に会って来ました。

湯沢市長の鈴木俊夫市長は日本共産党員の市長さんです(全国で9人)。もちろん無所属で仕事をしています。26~27日阿部律子町議、南三陸町の大滝りう子町議と3人で視察してきました。驚いたのは市の努力でシャッター通りが本当に少ないことでした。協働のまちづくりに取り組む姿勢には感動しました。



宮城で市田書記局長

1550人の大演説会 女川町からも24人で参加

女川から参加の24人は、仲卸市場や塩竈神社、麒麟麦酒工場などに寄って演説会場へ。

市田さんの「後期高齢者医療制度は現代版姥(うば)捨て山だ」という話に「その通り。総選挙で勝たなくては」と決意新たにしました。

高野博のフレッシュ便 NO. 22

発行 日本共産党女川町委員会



女川 支部の見解を紹介します
2008年4月6日(日)

電話 F A X 0225 - 53 - 3614

携帯 080-6016-3614

takano44@image.ocn.ne.jp

<http://www16.ocn.ne.jp/~takanohi>

大幅に更新中です。ぜひご覧下さい

金華山航路再構築へ 請願に共産党の2人賛成

金華山航路の再構築に向け、船の購入を支援して欲しいとの請願があり、町民の理解が得られる範囲の支援と出資金の増額などの付帯条件を付け、前向きに賛成しました。

- 3月1日 女川高校の卒業式
- 3月3日~14日まで 3月定例議会
- 3月8日 一中卒業式
- 3月18日 清水一区役員と町長陳情
- 3月19日 二小卒業式、
金華山航路請願特別委員会
- 3月22日 日本共産党演説会
- 3月24日 臨時議会
- 3月26から27日
秋田県湯沢市 行政視察
- 3月29日 清水一区総会

「9」があるから戦争しないんだよね

孫のさやちゃんが、おばあさんのブローチをみて『あっ「9」だ。「9」がなくなると戦争になるんだよね。「9」があるから戦争しないんだよ。お父さんが言っていたもん』と、おばあさんに話していたそうです。



平成20年1月~2月 高野博町議の活動報告

単位老人クラブの会長さんを訪問

後期高齢者医療制度の4月実施中止を求めて



2月末になりましたが、思い切って28の単位老人クラブの会長さんに、政府に対し4月中止を求める請願署名のご協力を訴えました。快くご協力をいただき、数百名の署名を国会に届けることが出来ました。全国的には500万をこえる署名になりました。

原発防災訓練の改善を申し入れ

県に対し2月20日、安全神話を一掃し、チェルノブイリ原発事故の被害を直視した防災対策を求めました。ヨウ素剤は、避難所では一律に服用させるとの医師の説明です。学校や保育所などに直ちに配備するよう求めました。



海域の活断層が連動した場合巨大な地震に！



江川紹子さん講演

1月31日、江川紹子さんの講演を聴きました。ご自身の経験から、テレビで「短く」「分りやすく」「刺激的な」フレーズが要求される現状を伝え、「自分で考える力を」と訴えられました。また、「ドイツの政治が次世代のために想像を行き渡らせ、その意志を国民に伝えているが、いま日本ではそれが出来ていない」と指摘しました。地球環境を守るために、原発からの撤退を選択したドイツの姿を思い浮かべ、江川さんの話を聞きました。



真実を伝える新聞です。
申し込みは高野博にご連絡を



(1 月 分)

- 1月4日 新春年賀の会
- 1月5日 市場初売手締式
・消防出初式
- 1月8日~10日 広報特別委員会
- 13日 成人式
- 16日 名取市議選支援
- 20日 スポーツ少年団等表彰式
母親大会実行委員会
- 21日 町立病院特別委員会
全員協議会・広報委員会
- 23~24日 原発防災訓練
- 25日 議員講座(仙台)
- 27日 後期高齢者シンポ
- 29日 臨時議会
- 30日 管理職員等研修会

(2 月 分)

- 2月5~6日 宮城県共産党議員会議
- 2月8日 地区委員会総会
- 2月9日 登米市立病院・講演会
- 10日 清水一区親睦会
- 14日~15日
長野県下條村視察・
総務企画常任委員会
- 20日 原発防災訓練で対県交渉
- 24日 博の父三回忌法要
- 27日 議会運営委員会
議員全員協議会
町立病院特別委員会
総務企画常任委員会
- 29日 佐々木梅吉
(気仙沼元市議)葬儀

平成20年7月 高野博町議の活動報告

「こんなひどい時代になるとは夢にも思わなかった」--「新しい政治」を求めて

日本共産党演説会

にぜひおいでください!



衆議院議員(比例代表東北選出)

高橋ちづ子

あいさつ



衆議院議員
かとう幹夫



高野博町議



阿部律子町議

私たちにとって、現職の国会議員を女川町に迎えて演説会を行なうのは本当に久しぶりです。

後期高齢者医療制度の廃止や社会保障費の2200億円削減路線の転換、地震被災者の救援や原油高騰の緊急対策など、国民の願いが届く政治をめざし全力でがんばります。

ぜひ、日本共産党演説会にお出かけください。ご案内いたします。

女川民権 8月号外 日本共産党女川町委員会
電話 03-3614-54-2562

- とき
9月14日(日)
夜7時より
- ところ
女川町生涯
教育センター大広間

日本共産党の見解を紹介します。

ついに実現。高橋ちづ子衆議院議員が女川町に来ます!

高野博のフレッシュ便 NO.23

発行 日本共産党女川町委員会



女川 支部の見解を紹介します

2008年8月10日(日)

電話 F A X 0225-53-3614

携帯 080-6016-3614

takano44@image.ocn.ne.jp

<http://www16.ocn.ne.jp/~takanohi>

大幅に更新中です。ぜひご覧下さい

7月19日・20日 新潟県柏崎市で 原発全国交流集会



交流集会に参加した横田・遠藤両県議と高野町議

原発を地震が襲った時、何が起きるか。恐れたことが現実になって、原発の危険が肌で感じられるようになりました。

全国各地から、県や電力との交渉の様子や署名運動、学習会など多彩な運動が報告されました。

何よりも「こんな耐震基準で本当に大丈夫か」と、住民が納得のいく説明を求めていきましょう。

7月26日(土) 石巻文化センター 「プルサーマルってなあに」

プルサーマルの学習会に女川の町議や石巻の市議も多数参加しました。活発な質疑もありました。

平成20年4月～6月 高野博町議の活動報告

恒例の春のバスツアー



今年は岩手県北上市の展勝地。仲間が仲間を誘っていただき、なんとバス2台で75名の参加、天気も回復しバッチリでした。

(4月20日)



北海道旅行。札幌の大通り公園。次の日は議会改革で有名な栗山町へ。定山溪温泉にも行きました。(6月21、22日)

原発の安全を求めて



6月13日、東北電力本社で「プルサーマル計画を撤回せよ」と迫りました。(写真)

6月7日には石巻と女川で、プルサーマルの学習会を行いました。伊東達也先生の話はわかりやすく、みんな良かったと話してくれました。

5月31日と7月6日は日本科学者会議の原発学習会、シンポジウムが開かれ、参加してきました。

5月13日から16日まで
住民・議会懇談会

6月16日から18日まで
6月定例会

6月27日総務企画常任委員会
丸森町視察研修

身近な相談相手として

この間、身近な生活相談も数多く寄せられ、誠実に対応してきました。困ったら一人で悩まず、まず電話で相談してください。(電話 53-3614)

県母親大会が盛会に

宮城県母親大会が石巻市開北小学校を会場に開かれ、1500名の参加で盛大でした。女川からもたくさんのお母さんが参加しました。(6月29日) 原発見学分科会は、大型バス54人の参加で行なわれました。(高野博町議は助言者として参加)



平成20年8月～12月 高野博町議の活動報告

柏崎刈羽原発の基準地震動がなんと従来の5.1倍の2300ガルと引き上げられました。電力も国も活断層を過小評価してきたのです。私は勉強しなければと痛感しました。「フレッシュ便」を長い間発行できませんでしたが、9月10月11月と「女川民報」を連続発行し、全世帯に届けさせていただきました。

女川原発で2ヶ月で3度の火災発生を重視し、厳しく申し入れするとして原発対策特別委員会

12月3日、女川町議会原発対策特別委員会が開かれました。右はNHKの映像の一部です。私は謝罪と再発防止策がくりかえされても「儀式」に過ぎないこと、東北電力の責任の所在を明らかにすること、第三者を加えた再発防止策を、町と東北電力の安全協定見直しを、提言しました。原発対策特別委員会として、安全管理について東北電力に厳しく申し入れることを申し合わせました。



プルサーマル計画の撤回を求め、申し入れ

11月7日に「原発の危険から住民の生命と財産を守る会」と「原発問題住民運動宮城県連絡センター」の2団体は、東北電力に対し、「プルサーマルの事前協議は、女川原発の耐震安全性の最終報告が出ていない中で、また取り返しのつかない重大な危険が増幅するとして、撤回すべき」との緊急の申し入れを送付しました。写真は記者会見の様子。

高野博のフレッシュ便 NO. 24

発行 日本共産党女川町委員会



女川 支部の見解を紹介します
2008年12月7日(日)
電話 F A X 0225-53-3614
携帯 080-6016-3614
takano44@image.ocn.ne.jp

<http://www16.ocn.ne.jp/~takanohi>

大幅に更新中です。ぜひご覧下さい

金華山航路の再構築を願って町民の合意が得られる範囲で私たちは1隻体制を提言しました。

私たちは、金華山航路の再開を切実に願う町民の声を伺い、一般質問で町長に女川の観光政策としていただきました。8500万円の全額補助は異常で同意はできませんでした。せめて1隻体制ではじめるべきと、提案しました。しかし、町長に聞き入れられず、棄権をしました。これからも積極的提言を行い、町民の願いを実現するためにがんばります。

政治の中身を変えましょう 国民が主人公の政権をめざして

私は阿部律子町議と一緒に毎週金曜日、朝7時より8時まで浦宿駅前、朝のあいさつ活動を行っています。クラクションを鳴らす人、ライトを点滅させ激励する人、会釈や手を振ってくれる人が日増しに増えています。財界やアメリカいなしの政治から国民が主人公の政治に、頑張ります。



高橋ちづ子衆議院議員を迎えて演説会

9月14日、女川町生涯教育センターの大広間で高橋ちづ子衆議院議員を迎えて日本共産党の演説会が行なわれました。85人が参加。被災者支援の充実や後期高齢者医療制度の廃止に向け、党派を超えた共同の努力に、感銘を受けました。比例代表選挙で共産党を大きく伸ばしましょう。

清水・川尻地区の急傾斜崩壊対策事業

長年の念願でした清水地区の急傾斜対策崩壊事業が、地区民の協力の下で行なわれています。引き続き、第二期工事が行なわれるものと思います。そして、区長さんや役員のみなさん、地区民が直接、町長に訴えて実現を要請してこられた箇所について、私も実現できるよう引き続き全力でがんばります。



議会報告と懇談会



10月、町内7箇所、議会報告と志位委員長の記念講演のビデオを見て懇談会を行いました。大変好評でした。これからも議会報告を行います。宜しくお願いします。



知人からいただいたSLの写真

身近な生活相談相手として、これからもがんばります。遠慮せずご連絡を下さい。

平成21年7月～12月 高野博町議の活動報告

町民のみなさんと一緒に「百害あって一利なし」のプルサーマル計画はきっぱり拒否を

子どもや孫に猛毒のプルトニウムという「負の遺産」を残すまい！

館野淳元中央大学教授は「女川原発はトラブル続きで、隠蔽体質が心配」「MOX燃料を燃やすと、燃えないプルトニウムや超ウラン元素が増え、取り扱いが困難で、使用済みMOX燃料は経済的にも再利用は難しい」と指摘。「プルサーマル計画は愚かなプルトニウム利用で、この機会に核燃料サイクルを見直すべきではないか」と話されました。

宮城県沖地震が想定される中、プルサーマルは無謀です。



9月12日 生涯教育センターで
主催 原発の危険から住民の生命
と財産を守る会

女川町・9条の会発足(7月5日) 第一回講演会(12月12日)



7月に町議会議長をはじめ9人の町議の参加を得て、党派を超え「憲法9条を守ろう」という一点で心を合わせ、女川町9条の会が発足しました。会長に松木卓さん、副会長に木村一さん。現在57人の会員です。

「31年間鹿島台の町長を務めてきましたが、残りの人生を、憲法9条を守ることにささげたい」との言葉に会場から大きな拍手が沸き起こりました。

**一致点を大切に、
保守も革新も
一つになって**

高野博のフレッシュ便 NO. 25

発行 日本共産党女川町委員会



女川 支部の見解を紹介します
2009年12月27日(日)
電話 F A X 0225 - 53 - 3614
携帯 080-6016-3614
takano44@image.ocn.ne.jp

<http://www16.ocn.ne.jp/~takanohi>

私たちは今年一年、町民の安全と平和、医療を守るために、党派を超えて力を合わせ、全力をあげてきました。

議長をはじめ多くの町議や町民の方々と、9条の会やプルサーマルの学習会、地域医療と病院を守るために私たちの役割などをテーマに、藤沢町を視察するなど、取り組んできました。ご協力ありがとうございました。これからもよろしくお願ひします。

大幅に更新中です。ぜひご覧下さい

地域医療を考えるー女川町立病院の明日を考えてー

藤沢町で開かれた「地域医療を考える現地研修会」(10月17日)
藤沢町民病院訪問(11月15日)など・本当に勉強になりました



「地域医療を考える現地研修会」と藤沢町民病院

6月に医師一人が退職され、来年定年退職される医師も。その上院長も退職される。町立病院が深刻な事態に・・・私たちは「信頼される病院とは、地域医療とは何か、医療を守るために何をしなければならないか、何よりも医師が快く来てくれる町にしたい」と、5人の町議や多くの町民とともに岩手県藤沢町で、何度も研修してきました。そんな中12月の病院特別委員会で町長から「地域医療振興協会から医師一人派遣の快諾があった」と報告がありました。

8月30日 「過渡的な情勢」と日本政治の「新しい時期」が開かれました 強烈な「自公政治ノー」の審判ー建設的野党の重大な役割ー



派遣村、過労死など日本社会に貧困と格差が蔓延し、自公政治への厳しい審判が下されました。国民の「政治を変えたい」という思いはこれからも続きます。東北の宝、高橋ちづ子の議席を守ることが出来ました。

女川では比例代表の得票率は約10%、日本共産党の得票率では宮城県内で第2位、東北ブロックで第6位でした。民主党政権への期待や不安、失望渦巻く中、悪政へ逆戻りさせる自民党の動き、その中で世論と運動で政治を前向きに前進させる建設的野党=日本共産党の役割が本当に大きくなると思います。今後ともご支援ご指導宜しく申し上げます。

今度は参議院選挙で



昨年9月、85人参加で開かれた演説会



大門みきし参議院議員はサラ金規制で頑張った庶民の味方。日本共産党は比例代表選挙で650万票の獲得をめざし、全力で頑張ります。

身近な生活相談相手として、これからもがんばります。遠慮せずご連絡を下さい。

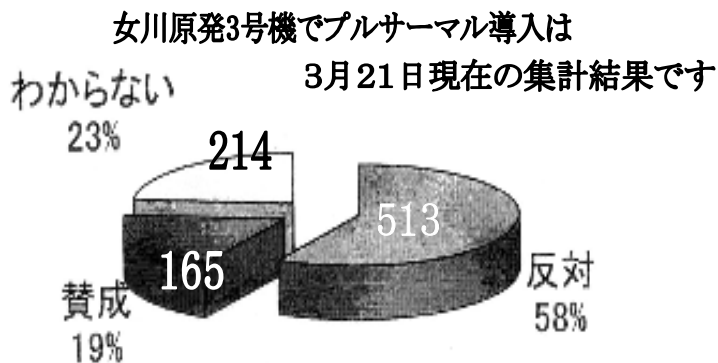
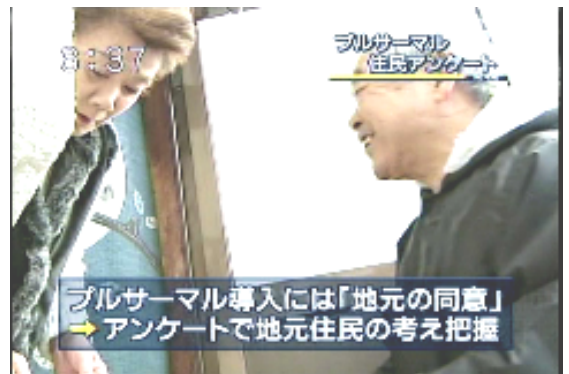
1月5日と6日両日、NHKBS1で、午前10時10分から、「問われる原発の安全性」(前編)(後編)が再放送されます。ぜひご覧下さい。

平成22年1月～3月 高野博町議の活動報告

町民の皆さんのご意思を表明する機会をつくるために、アンケートを実施しました
―― 892通の回答がありました。ありがとうございました ――

阿部律子町議とともに、3500 世帯を訪問し、直接アンケートのお願いをして歩きました。「住民の理解」が同意の条件でしたから、何よりも町民の皆さんの意思が表明される機会をつくりたかったのです。結果は圧倒的に反対が多かったのです。

私たちは、町長や議長宛に「住民投票か住民意向調査を実施して欲しいと」強く要請しました。しかし、「時間がない」と拒否されました。そこで直接議会で「住民投票条例」を提案しました。否決されましたが、私たちは引き続き「住民こそ主人公」という立場を貫いて、皆さんとともにがんばります。



返ってきた 892 通のアンケート用紙です

住民の意思を無視した、プルサーマル同意に厳しく抗議します
皆さんとご一緒に、プルサーマルを実施させないために全力でがんばります

高野博のフレッシュ便 NO. 26

発行 日本共産党女川町委員会



女川Ⅱ支部の見解を紹介します

2010年3月21日(日)

電話 F A X 0225-53-3614

携帯 080-6016-3614

takano44@image.ocn.ne.jp

<http://www16.ocn.ne.jp/~takanohi>

大幅に更新中です。ぜひご覧下さい



2月27日、美里町で午前10時～12時まで、「いのちの山河」(6月13日石巻文化センターで上映予定)という映画を見、夜は女川町生涯教育センターでほうねん座の公演を鑑賞しました。この日は心豊かに、涙を流し、胸躍らせた一日でした。

女川町立病院の再生を願って 医師をあたたく迎えられる準備を

町立病院対策特別委員会（委員長高野博町議）は2月25日委員会を開きました。

そこで、町長から医師確保の取り組みについて報告を受けました。

それによると、3月25日以降、地域医療振興協会から斉藤充医師、副院長として東北大学から庄司勝医師、そして宮城県から大平祐己医師が赴任されることになりました。

今度こそ、町民に頼りにされる町立病院に再生したいと決意しています。医師をあたたく迎えられる町にしたいものです。

新院長ら3人 医師確保
女川町立病院 4月の人事内定
町長 常勤医5人を維持



女川町立病院を守る決意を込めて、二人で頑張ります

参議院選挙で「建設的野党」・日本共産党の躍進を

暮らし、福祉、医療、平和、どれをとっても、政治を前へ進めなければなりません



「住民無視のプルサーマル導入は絶対許せない」と訴える高野町議

政府・民主党は現代版「姥捨て山」といわれる、後期高齢者医療制度の廃止や大穴だらけの改正派遣労働法も実施は先送りし、沖縄の普天間基地問題も「県外、国外」と言った公約を反古にしようとしています。

こうした中、まともに国民の声を代弁できるのは、建設的野党の日本共産党ではないでしょうか。

日本共産党を伸ばすためにも、国民の運動を伝える「しんぶん赤旗」のご購読をお願いします。



5月におこなわれる石巻市議選にもご支援を心からお願いします。



◎石巻市議選（定数34）
5月16日告示・23日投票

	三浦 一敏 市議
	庄司 よしあき 市議
	水沢 ふじえ 市議

3月25日、津波被害の救済を政府に求めてきます

チリ地震津波は漁業者に大きな被害をもたらしました。

3月25日、高野町議は政府交渉で、共済制度の問題や当面の資金繰りに国の支援を求めて要請してきます。

身近な生活相談相手として、これからもがんばります。遠慮せずご連絡を下さい。